



インスピレーションになろう

会長挨拶 吉田 和義 会長

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/45名 出席率/60.00%

メークアップ/30名 修正/75名 修正後率/100%



秋晴れの日曜日、当クラブ会員と成蹊高校 I A C 部員総勢 40 名で猪苗代湖水草清掃の奉仕活動を行って来ました。菊池社会奉仕委員長お世話頂きありがとうございます御座いました。大橋バスガバナーご夫妻には冷たい風吹く中でのご参加ご苦労様でした。

また月曜日には東京麹町 RC へ福島南 RC ・東京麹町 RC 姉妹クラブ締結 7 周年記念例会に 11 名で参加してきました。華やかな祝奏の後、懇親会に移り会員同士の絆を深めてまいりました。

本日 10 月 24 日は「世界ポリオデー」となっております。例会プログラムは松崎ロータリー財団委員長主導により進めさせていただきます。ポリオ撲滅の募金活動目標会員一人当たり 50 ドル、松崎委員長の活躍により達成できるようです。ありがとうございます。横山りつ子地区ロータリー財団委員会資金推進・ポリオ委員会委員にはこの後スピーチをお願いしております、よろしくお願ひいたします。

さて本日は先般の国際旅行で訪れたモンゴルより米山学友会会長バトゲレルさんが来日中の仕事の合間を縫っておいで頂きました。モンゴル最終日の食事会では米山学友会の皆様にすっかりご馳走になり、さらに日本語カラオケのご案内頂き心より御礼申し上げます。後程スピーチ頂く予定です。ご本人にはモンゴル訛りの日本語でお話しくだされたいと伝えてありますので楽しみです。さらに夕方の福島成蹊高校 I A C 例会でバトゲレルさんにはスピーチして頂く事になっております。

米山功労者表彰

受賞者: 吉田和義 会長



米山功労者
第6回マルチプル
福島南ロータリー
クラブ
吉田 和義 殿
おめでとう御座
います。

第4回ゴルフコンペ報告

菅野 和宏 ゴルフ部会長



第4回ゴルフコンペが郡山熱海 CC で 8 名の参加で執り行われました。優勝は亀井淳会員、準優勝が高橋勇雄会員でした。なんと 2 番ホールで亀井会員が **ホールインワン** を達成しました。
亀井会員コメント: 入った瞬間は見えなかったが、入っていると云われて頭が真っ白になった。これで一生分の運を使い果たした



ロータリー財団委員長挨拶 松崎 弘昭 委員長



本日は世界ポリオデーにちなんで特別な企画をさせて頂きました、ポリオデーの目的は、私たちが日々行っている奉仕活動や、ポリオ撲滅に関する活動を中心として地域社会の方に活動内容をお伝えして、知ってもらう事でロータリーのイメージ向上を目的として行っています。そのためには、まず会員の方々がポリオ撲滅運動について理解を深めないと地域には伝わりませんので、今回は地区のロータリー財団委員会の資金推進ポリオ委員会担当委員の横山さんより会員の方々にポリオの現状についてのお話を頂く事と致しました。その上で、頒布を計画しているクリアファイルを利用して、地域社会の人に広めて頂きたいと思っております。

RI 第2530地区 資金推進ポリオ委員会ポリオ担当委員 横山 りつ子 様

野生株によるポリオ症例数 2017 年 残 2 か国 (パキスタン 3 人、アフガニスタン 9 人) 12 人

「世界ポリオデー」にお招きいただきありがとうございます御座いました。「世界ポリオデー」はポリオワクチンを開発したジョナソーク博士の誕生日を記念して定められました。そして今年には世界ポリオ撲滅推進運動の 30 周年目です。私たちが今、世界ポリオデー・エンドポリオで活動することで人々にポリオって何だろうと関心をもたせ、ポリオ撲滅活動の先駆者であるロータリーの公共イメージの



向上に繋げましょう。

本日は映画「ブレス しあわせの呼吸」のチャリティ上映会が開催されます。同時にポリオ撲滅募金活動が行われます。ポリオに感染し全身不随となったイギリス人ロビン・カベンディッシュがモデルです。人とのふれあいがある豊かな人生を生きるために闘い、生き方の見本を示した映画です。ポリオの最後を見届ける今の時代に生きる、ポリオサバイバーたちはポリオの現実を訴え続けることで撲滅を願っています。それは、残念ながら多くのポリオサバイバーがポストポリオ症候群(ポリオ後遺症)を持ち、再び二次症候群に直面していくからです。私達に出来る事はポリオワクチン接種の重要性を訴え、現地でワクチン投与活動を率先して行っていくことや国内でポリオ撲滅のための寄付金を集める事です。ポリオ撲滅はロータリーの最優先事項です。撲滅を達成するにはクラブや地域社会からのポリオプラス基金へのご寄付がかせませます。

ロータリーにおけるポリオ撲滅運動の始まりは、自分の命を犠牲にして世界中のポリオ撲滅プロジェクトのモデルを切り開いた福島南 RC 姉妹クラブ東京麹町 RC 会員であった山田鼻さんと峰英二さんでした。そして RI のポリオプロジェクトの先駆者となり素晴らしい効果を上げられました。きっかけは山田さんが RI へポリオ撲滅を全世界で取組むべきと要請の手紙を書き続けたことです。その熱意が WCS プロジェクトから RI のポリオプラスプロジェクトに繋がりました。

RI は 1978 年東京国際大会で 3H 計画を決議、1981 年 3H 計画(健康、飢餓追放、人間性尊重)のもと、お二人は実施状況監督の為南印度へ行かれた際に、公園でポリオのため両手両足が衰え、蛇の様に這う少年に出会い強烈なショックを受けました。人間の最低限の尊厳を守るため、世界中のロータリアンが責務として力を合わせ必ず撲滅しなければならぬと決意され、再び 1982 年南印度へ渡航しましたが、コールドチェーンが無く 1 回目は失敗に終わりました。その 1982 年日本ではポリオ撲滅宣言をします。更に RI に働きかけ 1985 年 2 月創立 80 周年にあたり世界社会奉仕部門でポリオプラスプロジェクトを最優先事項とする旨の「ポリオプラス計画」を決議しました。

その後、お二人は毎年南印度へ渡航しますがコールドチェーン不備で溶けてしまい機能を失ったワクチンにより子供たちが死んでしまうという悲惨な現状を目撃し「こんなことがある限り私達にとり本当の意味の平和はない」と心を痛め奉仕活動を続けてこられました。しかしお二人は撲滅を見ることなく南印度で風土病に感染し 1988 年 1989 年と相次いで逝去されました。

天然痘に続きポリオが地球上からなくなるその時が近づいています。発症が 0 になっても RI はあと 3 年はこの活動を続けまます。ロータリー財団はノーベル平和賞の候補ともいわれています。歴史をつくるカウントダウンを合言葉に世界からポリオがなくなる瞬間に私達はその運動に携わっている喜びを分かちあひことができるのです。

人道的奉仕の重点化と増加のひとつ、ポリオプラスへ福島南 RC はクリアファイル販売を企画され、ロータリー財団へ寄付をされることに感謝申し上げます。会員一人当たり平均寄付額目標 \$30 も達成されることでしょう。現在ポリオのない世界まであと少しです。今までロータリーは 122 ヶ国で 25 万人以上の子どもにポリオの予防接種を行って来ました。1985 年以来ポリオプラス・プログラムを通じて多くの資金が集められ、ポリオに対する認識が向上しました。あと少し、撲滅に向けて更なる募金で支援と認識を高めてください。現在まで POLIO END NOW 2018 が未達成の原因は戦争、紛争、テロのため十分なワクチン投与活動が行われていない事です。一旦撲滅された国々でもワクチン接種率低下のため、ワクチン由来のポリオが発生しています。

ポリオプラス委員会は、R 財団のポリオ撲滅活動についてロータリアンや地域社会への啓蒙活動を行い、募金活動を企画する委員会です。模範的なポリオ撲滅活動を表彰するなどの役目があります。しかし皆様のご寄付を頂く上での理解と納得を得ることがもっとも重要です。ご理解を得たうえで更なる寄付推進に繋がるべく募金活動を企画致しますので福島南 RC の皆様には地区の委員会活動にご理解を頂きご協力をお願い致します。



ゲストスピーチ モンゴル米山学友会会長 オイドブ・バトゲレル 様



モンゴル米山学友会 2018 年度から 2020 年度の会長を務めております。本日は、モンゴルの学友会活動紹介という事で簡単に紹介させていただきます。私は、2000 年から 2013 年まで日本に留学させて頂きました。群馬大学医学部大学院にて研修生・修士課程・博士課程を経て、2013 年にモンゴルに帰国しました。帰国後は国立第 3 病院で研究・教育の担当として副院長を務めております。日本に留学して、日本のロータリアンたちと出会ってから主に活動している・取り組んでいる幾つかの課題があります。大きな一つの課題は『モンゴルの医学教育発展に貢献したい』モンゴルには理学療法士の職種が無かったので、群馬大学と共同でカリキュラムを導入して、理学療法士の専門家を育成しました。

これは非常に重要で、モンゴルで生活習慣病、特に脳卒中が非常に多くて脳卒中で倒れた方がリハビリをする事が出来ず、社会復帰が困難な状況でしたので、リハビリを担当してくれる専門家が必要とされておりましたので、理学療法士のカリキュラムを導入して専門家を育成することが出来ました。もう一つが医師の卒後臨床研修制度を作りたい、日本の研修制度が非常に優れているので、モンゴルに導入したいと思ひ、JICA と共同で 6 年の医師教育を受けて、その後 2 年間臨床研修を受ける制度を作りました。2 つ目の大きな目標が『モンゴルの医療分野に貢献したい』

脳卒中や心筋梗塞で倒れた人がリハビリを受ける機会が少なく、さらに受け皿が少ない、病院や施設がないのでそのためにリハビリテーションの医療を広げる、そして国立病院に勤めているが、近い将来に日本式のリハビリテーション病院を開設することを心ざして企画しております。

3 番目が『モンゴルの地域社会をもっとよくしたい』そのための一つ目はロータリー奉仕活動です。2013 年に帰国して SELBE ロータリークラブに入会しました。私が留学した時の米山奨学生としての世話クラブであった前橋ロータリー



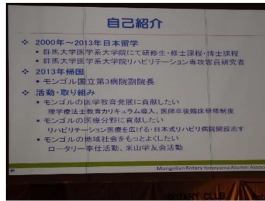
ラブの力を借りて、グローバルクラブをモンゴルで実施しており、10月から群馬大学でモンゴルの聴覚障害児学校の教員達に聴覚障害の近代的な教育を受けてもらっております。もう一つが米山学友会活動です。現在モンゴルの米山学友会の会長として勤めておりますが、本日のスピーチは米山学友会活動の一環としてお話しさせていただきます。

次にモンゴル学友会の活動紹介です。

教育の社会奉仕活動としてウランバートル市外にある学校の図書館プロジェクトを実行中です。ご存知の通り学友会の活動はロータリーの方々の力を借りて一緒にやっているわけですが、この図書館プロジェクトは大阪東RCの支援を頂いております。

また、孤児への教育支援の為にパソコンの贈呈や青少年期における女性の生徒たちに性教育に関する講演や啓発活動を実施しております。また、米山記念奨学会についてモンゴルで若い学生たちに説明の実施、学友会による奨学金制度も作りました。

また、新プロジェクトの提案という事で、モンゴルの地域社会を良くして行く為に自分たちで色々提案をして、皆さんの力を借りて実施しているものもあります。また、地域社会への奉仕活動として、日本人墓地や孤児院への植樹もしております。あるいは災害者支援募金活動、日本語能力を利用して「見えないから見えるもの」等の障がい者向け映画の翻訳を実施しております。交流活動は、私たちが楽しみにしている活動で特にロータリアンやロータリー関係者と交流することが盛んにおこなわれております。また、学友会同士での交流も定期的に行われております。



会員活動については、来年実施する世界学友による絆 in モンゴルという大会を企画しております。これは、昨年熊本で実施されました、感謝 in 熊本というタイトルで震災の後に実施されました。これをモンゴルで来年やりたいという事で本日パンフレットをお持ちしました。また、新しいプロジェクトで、ロータリアンの力を借りて実施したいと思っていることが、ウランバートル市内の小学校低学年の児童の口腔保健活動プロジェクトがあります。モンゴルは2〜12歳の子供が72万人くらいおりますが、その中で口腔健康教育が不十分でいろいろな疾患を抱えている事が、5〜6歳までの約1,000人を調査したら84%が虫歯であった、虫歯の予防は各地域から始動することが大切である。



コンセプトは健康な心と口からという事で、低学年の子供たちに正しい歯磨きの習慣を身につけさせて虫歯や歯周病の予防の意識を高めて、健全な教育 体と心を持っているモンゴル人を育てることが目標です。

様々な企画をロータリアンの皆さんの力を借りて一緒にモンゴルの社会を良くして行きたいと思っております。

— 理事会情報 — 第5回 H30年10月10日 13:40～ 於サンパレス

- 1 審議事項
 - (1) 11月度プログラム承認について 一條浩孝幹事より11月度のプログラムについて説明があり審議の結果、原案通りに承認された。
- 2 報告事項
 - (1) 地区・第1分区分、その他の行事について一條浩孝幹事より報告があった。
 - (2) 各委員会報告 ※抜粋
 - ・高橋勇雄 会場監督より 第1回のテーブルスピーチの現状について理事会で伺う。次回11月14日の例会で実施予定、テーマは「最近楽しかった事」スピーチできる時間とテーブルリーダーも準備したい。会長の要望により、クラブ会報へ地区報告を記載する。12月の家族クリスマス忘年会の内容について11月の第6回理事会の席上で発表する
 - ・赤間浩一 クラブ会報委員会より 10月3日米山奨学生のスピーチ民友新聞には掲載されるも、民報新聞はまだ、今回の米山奨学生のスピーチは民友新聞で取材した。(会長からのアドバイス)「当クラブは高齢化、途中でのリタイアが多々であると思われる。若い世代に引き継いでいきたい。40代50代でこれから活躍できる立場の人をお願いしたい。自分も挑戦中、今年度5人増強したい」
 - ・伊藤紘一 親睦活動委員会より
 - ・菅原節子 クラブ広報・雑誌委員会より
 - ・笠 雅樹 会員増強委員会より
- 2 その他
 - (1) ガバナー公式訪問クラブ協議会次第について一條浩孝幹事、高橋勇雄会場監督、吉田和義会長より報告・連絡があった。
 - (2) 情報委員会についての報告―理事会に地区セミナーの報告書を提出する
 - (3) IM 2019年2月8日 於サンパレス福島 当南福島RC担当 ①会員増強とクラブ改革 ②古侯ガバナー補佐と当クラブで思考 ③青少年奉仕活動については未定
 - (4) 50周年実行委員会について―12月1週目の例会(フォーラム形式)で、記念事業、講演会等の要望を伺う。
 - (5) 福島南ロータリークラブ戦略計画委員会より―今後当クラブの各委員会理事の選考、若い人を起用(3年で昇格等)委員会でまとめて行きたい。

— 今後のプログラム —

- ・11月7日(水)会員スピーチ 安齋常克会員
- ・11月14日(水)ゲストスピーチ 大橋 美由希さん(福島中央 RAC)
- ・11月21日(水)休会
- ・11月28日(水)移動例会(風の谷) 会員スピーチ

— 10月31日(水)の例会プログラム —

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘 | 5. スマイリングBOXの報告 |
| 2. ロータリーソング | 6. ガバナー公式訪問スピーチ |
| 3. 四つのテスト唱和 | 7. 各委員会報告 |
| 4. 来訪者紹介と会長挨拶 | 8. 閉会点鐘 |

— 地区情報・第一分区分・関連情報 —

- ・11月9日(金)防火パレード
- ・11月11日(日)ロータリー財団補助金管理セミナー
- ・11月17日(土)～18日(日)日本学友会総会(東京海洋大学)

※例会終了後、全員で記念写真の撮影がございます。